

## 芦別青年会議所が市と2期目のまちづくり事業連携協定



11月17日、一般社団法人芦別青年会議所（定田勉理事長）は創立70周年記念事業の一環として、市と第2期あしべつまちづくり事業連携協定を締結しました。

同協定は、市の活性化や発展を目的に、両者が市の抱える諸問題の解決に向けて積極的な連携・協力を行

うというもので、2023年12月31日に失効する第1期の協定を見直し策定されたものです。

芦別市役所で行われた締結式で荻原市長は「若い力と柔軟な発想で意見やアイデアを」と話し、定田理事長は「協定をいかし事業などでまちに貢献したい」と応えていました。

## 大人と子どもが力を合わせて熱戦を展開

11月19日、第30回全市親子ドッジボール大会が総合体育館で開催されました。大会は、親子の対話を深めるとともに、地域の仲間づくりと青少年の健全育成を目的として開かれ、コロナ禍のため4年ぶりの開催となりました。

当日は、本町と上芦別の各地区か

ら小学生と大人で構成された親子チーム5チーム、中学生チーム1チームの計6チームが参加し、約70人が競技に参加しました。

試合では、大人も子どもたちに負けじと、全力でコート駆け回り、観覧席ではゲームを見守る保護者の皆さんの熱い応援が続きました。



## 一流選手の技術を体験。フェンシング体験会を初開催



11月25日、芦別市総合体育館でフェンシング体験会が開催され、市内の小学生14人が参加しました。

これは、星槎国際高等学校川口学習センターと北海道フェンシング協会の合同合宿が23日よりあしべつ宿泊交流センターで行われたことから、同協会と市教委が主催したもの

で、今回が初開催となりました。

当日は、合宿の強化練習が行われる中、インストラクターとして同校教諭で2015年から2021年までフェンシング日本代表に選出された森翔一さんと同協会強化委員長で国際レフリーの小林善洋さんが参加し、児童たちへ指導を行っていました。

## 上芦別駐在所、建て替えが完了し業務を再開

12月3日、芦別警察署上芦別駐在所の建て替え工事が完了し、運用が開始されました。

新しい駐在所は、以前と同じく国道38号線沿いの上芦別町157番地に建て替えられました。

同駐在所は、3月31日に野花南駐在所が廃止され、4月1日から上芦

別駐在所に統合されました。

1993年に建てられた旧駐在所は、社会情勢の変化や施設の老朽化などを考慮し、建て替えが行われました。

新しい駐在所は木造の2階建て、床面積は130㎡、1階には車庫や執務室があり、2人体制で業務を再開しました。

